

2015年1月8日

各位

大阪信用金庫
理事長 樋野 征治

定例調査：第162回 景気動向調査（10～12月期）

☆回復ペースダウン 先行き暗雲低迷

☆設備投資「予定あり」△2.0ポイント 設備実施・予定が16.7%

☆問題点トップ3「売上の停滞・減少」「仕入単価の上昇」「価格競争の進展」

☆冬季賞与支給企業が増加！ただし業種間でばらつきあり

● 回復ペースダウン 先行き暗雲低迷

総合では、売上D Iが△4.3（前环比+2.2ポイント）、収益D Iが△8.9（前环比+0.7ポイント）となり、売上D I・収益D Iともに9月期から上昇しましたが、9月期（前环比売上D I+2.8ポイント、収益D I+4.5ポイント）よりも回復ペースが鈍化しています。

業種別では年末にもかかわらず、製造業や小売業、サービス業で売上D Iが下落しました。2015年1-3月の見通しは、製造業や飲食業、建設業、運輸業で売上D I・収益D Iともに下落すると考えており、さらに進むと予想される円安への懸念や景気回復の材料不足から、業況の先行きに厳しい見方をする企業が増加しています。

● 設備投資「予定あり」△2.0ポイント 設備実施・予定が16.7%

売上D Iや収益D Iの回復ペースは鈍化しましたが、設備投資は「実施中」が7.7%（前环比+0.1ポイント）、「予定あり」が9.0%（前环比-2.0ポイント）となり、依然堅調に推移しています。しかし、今回は「予定あり」が2014年で初めて減少しており、今後の設備投資の動向が注目されます。

設備投資の主な内容は、「機械の新設・増設」が31.5%と最も多くなりました。

● 問題点トップ3「売上の停滞・減少」「仕入単価の上昇」「価格競争の進展」

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が48.3%、「仕入単価の上昇」が44.6%、「価格競争の進展」が42.5%となり、これら三つの問題点は2015年も経営課題になると思われます。業種別では、「人手不足」が建設業で46.2%、運輸業で45.3%と前回調査からさらに増加し、ますます深刻な問題点となっています。

● 冬季賞与支給企業が増加！ただし業種間でばらつきあり

冬季賞与を支給する企業は57.5%となり、昨年比べて1.4ポイント増加しました。

しかし、賞与を支給する企業は業種間でばらつきが見られました。

従業員規模別では、賞与を支給する企業は「51～100人」が94.1%となり、昨年比べて15.8ポイント増加しています。

調査時点：2014年12月上旬

対象期間：2014年10～12月（実績） 2015年1～3月期（見通し）

対象企業：当金庫お取引先1,799社（大阪府内、尼崎市）

回答企業数：1,321社（回答率73.4%）

調査方法：調査票郵送および聞き取り調査

本調査に関するお問い合わせは下記までお願いします

株式会社だいしん総合研究所（担当：平山）

TEL: (06) 6211-2921 FAX: (06) 6211-2930

E-mail: souken@osaka-shinkin.co.jp

URL <http://www.osaka-shinkin.co.jp>

この街のホームドクター



大阪信用金庫